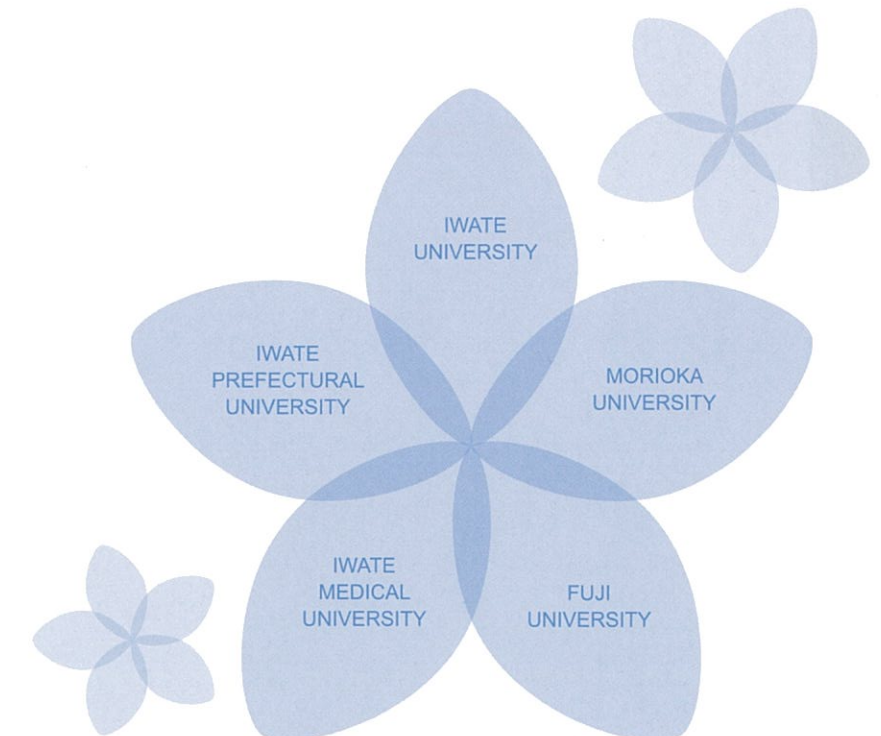


平成23年度文部科学省
「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」

『地域を担う 中核的人材育成事業』 の推進

【連携校】 岩手大学
岩手県立大学
岩手医科大学
富士大学
盛岡大学



The Iwate Higher Education Consortium

構成大学

岩手大学

総務企画部 総務広報課

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8
TEL.019-621-6855 FAX.019-621-6014
メールアドレス: ihatov5@iwate-u.ac.jp

岩手県立大学

教育研究支援室

〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巢子152-52
TEL.019-694-2016 FAX.019-694-2011
メールアドレス: ipu-kyoumu@ml.iwate-pu.ac.jp

岩手医科大学

企画部企画課

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1
TEL.019-651-5111 FAX.019-624-1231
メールアドレス: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

富士大学

総務部総務係

〒025-0025 岩手県花巻市下根子450-3
TEL.0198-23-6221 FAX.0198-23-5818
メールアドレス: syomu@fuji-u.ac.jp

盛岡大学

総務部総務課

〒020-0183 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808
TEL.019-688-5555 FAX.019-688-5577
メールアドレス: soumu@morioka-u.ac.jp



平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方に甚大な被害を及ぼしました。

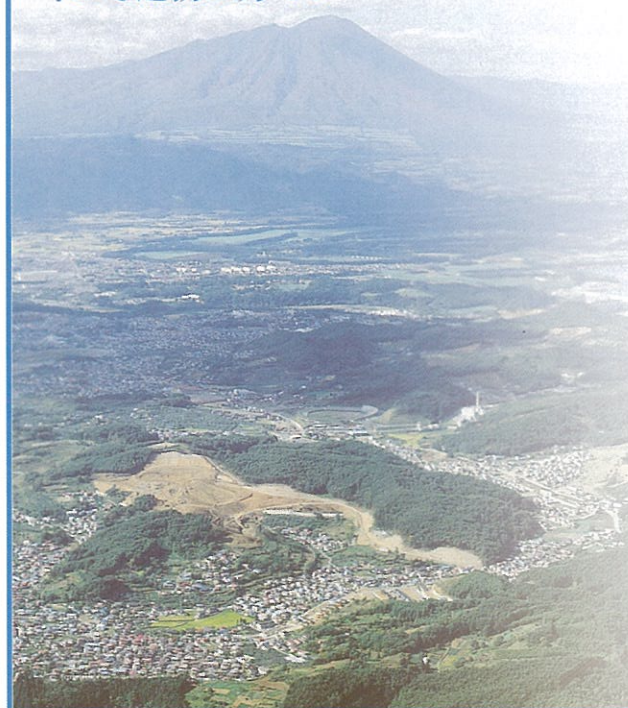
過去に三陸地震津波やチリ地震津波を経験して、防潮堤の整備や官民挙げて地域防災活動に取り組んできた岩手県にとっても、今回の大震災は想定外の規模のものとなりました。

いわて高等教育コンソーシアムの連携大学は、震災直後から、各大学の特色を活かした支援活動を行ってきました。

そして、今、いわて高等教育コンソーシアムは、「連携」という強いつながりのもと、岩手県が今回の震災を乗り越え復興を果たすため、コンソーシアム設立の趣旨を再確認し、「岩手の復興を人材育成から、今こそ連携の力で!」をスローガンとして、震災復興を担う中核的人材の育成と被災地の復興に貢献する研究に取り組んでいきます。

いわて高等教育 コンソーシアム 学長宣言

岩手の復興を人材育成から、
今こそ連携の力で!



3月11日に発生したマグニチュード9という大地震とその後の大津波により、岩手県では4,500人を超える方が亡くなられ、また2千人以上の方が依然として行方不明となっています。私たちは、いわて高等教育コンソーシアムを構成する5つの大学を代表して、この地震と津波で亡くなられた方に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

いわて高等教育コンソーシアムは、①大学進学率の向上、②地域社会への貢献、③地域の中核を担う人材育成、の3つを設立目的として、Webを活用した教育基盤の整備や5大学の共通科目「いわて学」の開講、学生による地域課題解決プロジェクトの推進などに取り組んできました。いま、震災からの復興という課題を前に、私たちは改めてコンソーシアムが3つの設立目的に即して力を尽くしていかねばならないと決意を新たにしています。

何よりも被災により大学進学を断念する高校生が出ないように沿岸地域の高校と連携して取り組みます。また、被災地の復興に対しては、学生ボランティアの派遣や専門家による調査研究、提言の活動など、高等教育機関としての役割を積極的に担って行きます。さらに長期間にわたる復興を担う人材を育成する教育プログラムの開発に連携して取り組みます。

いわて高等教育コンソーシアムは、分野の異なる学部をもつ5大学が自らの特徴を最大限に生かしつつ、連携の力で「地域の知の拠点」を目指すものです。その意味で、今回の震災は、まさにコンソーシアムの真価を問うものとして、私たちはそれぞれの特徴を生かしながら連携の力で復興を担う人材育成を推進していきます。

平成23年6月15日
岩手大学 長 藤井克己
岩手県立大学 長 中村慶久
岩手医科大学 長 小川 彰
富士大学 長 藤原隆男
盛岡大学 長 望月善次

いわて高等教育 コンソーシアムにおける 地域復興を担う 中核的人材育成プラン

6月15日の学長宣言「岩手の復興を人材育成から、今こそ連携の力で!」をうけて、運営委員会では震災復興ワーキングを立ち上げ、「いわて高等教育コンソーシアムにおける地域復興を担う中核的人材育成プラン事業例」の「Ⅰ.沿岸復興活動拠点形成事業」、「Ⅱ.大学進学事業」、「Ⅲ.中核的人材育成事業」、「Ⅳ.地域貢献事業」の実現を目指していきます。

事業例

Ⅰ 沿岸復興活動拠点形成事業

- 釜石市に活動拠点を設置し、各種取り組みを推進。

Ⅱ 大学進学事業

- テレビ会議システムを活用した沿岸地域の高校生への進学案内
- 大学生ボランティアによる沿岸地域の高校生への学習指導

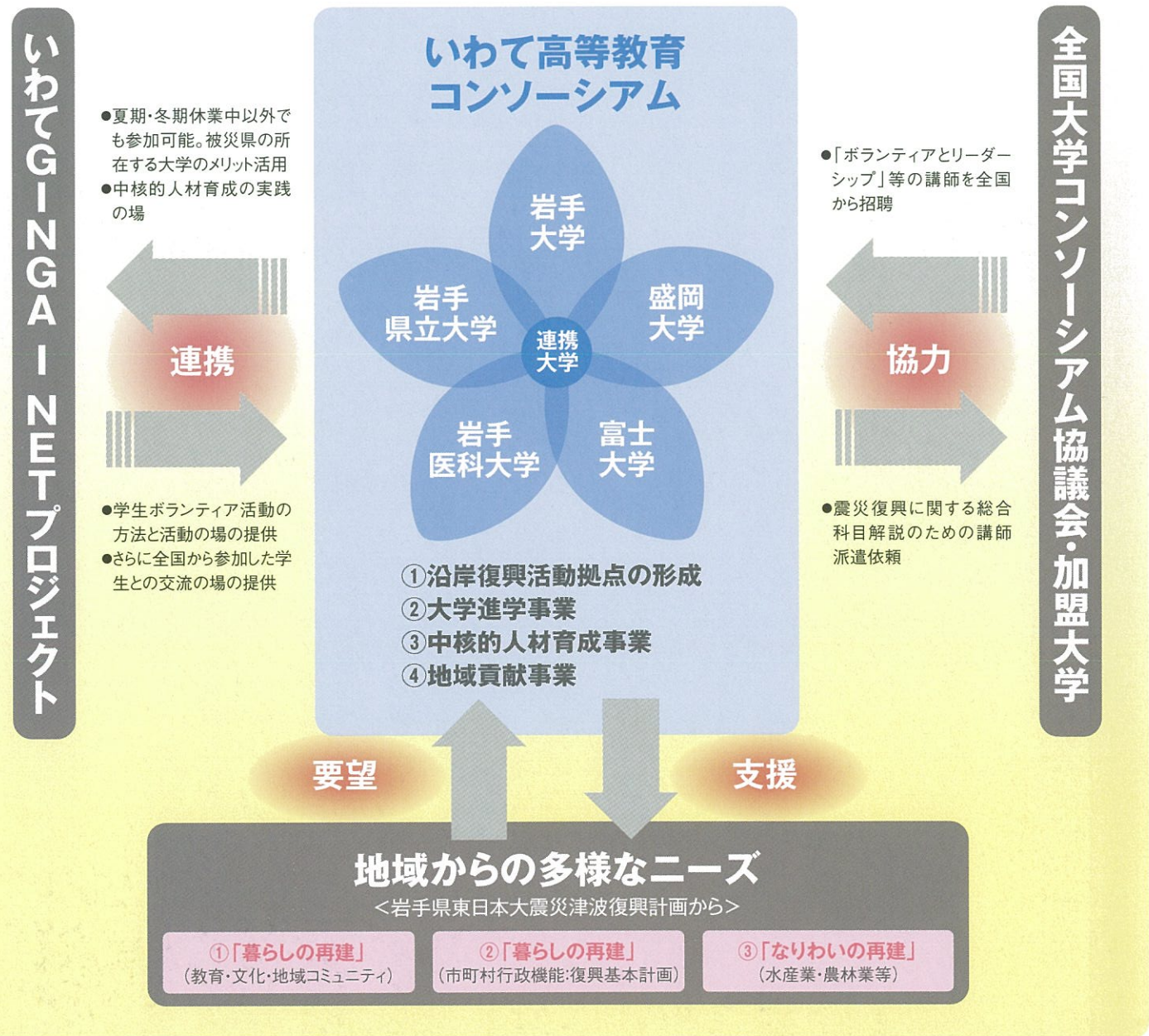
Ⅲ 中核的人材育成事業

- 震災復興の視点を取り入れた「いわて学」(地域人材育成)の展開
- 地域課題解決プロジェクトのテーマを「震災復興」として公募
- ボランティア論・リーダー論等の授業開発
- 被災地の自治体職員、教員の経験を共有するワークショップの開発
- 被災地の学校で高校生・大学生がともに学ぶワークショップの開発
- コーディネート力を備えた人材育成のプログラムを3年間で開発

Ⅳ 地域貢献事業

- 専門家の派遣による調査研究
- 調査研究に基づく提言

地域を担う中核的人材育成事業



いわて高等教育コンソーシアム 平成23年度以降の運営体制〔組織図〕

